



田辺高校 甲子園へ

21世紀枠で初選出



76年ぶりセンバツ出場

「センバツ」出場が決まり、喜ぶ田辺高校野球部のメンバー(2024年1月26日撮影)

第96回選抜高校野球大会の選考委員会が26日、大阪市であり、21世紀枠で田辺の出場が決まった。田辺の「センバツ」出場は1947年、48年に続いて3回目で、76年ぶりとなる。夏の甲子園には1995年に1回出場している。

田辺はエースの寺西邦右投手(2年)や4番打者の山本陣世選手(2年)、山本結翔主将(2年)を軸に、昨秋の近畿県予選で市和歌山、智弁和歌山などを破って準優勝。近畿大会では1回戦で京都国際に2-3で敗れたが、延長10回タイブレークの接戦だった。

選抜大会は3月18日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で32校が出場して開幕する。県勢では、近畿県予選で優勝し、近畿大会で4強入りした耐久も出場する。

選抜大会の21世紀枠は2001年の第73回大会から導入された。公式戦の成績以外に、困難な環境の克服や文武両道、地域での活動などが選考対象となる。県勢の21世紀枠での出場は、向陽(10年)、海南(14年)、桐蔭(15年)に次いで4校目。

【田辺高校】1896(明治29)年に創立。1948年の学制改革で現校名になった。94年から普通科、自然科学科の2科。2006年に田辺中学校が開校し、中高一貫となる。

野球部は広島東洋カープの新家颯投手(20)らプロ野球選手も輩出している。現在は2年生9人、1年生9人。マネージャー4人。

購読のお申込み

Tel.0739(22)7171

株式会社 紀伊民報 販売部

インターネットからも受付OK!

<https://www.agara.co.jp>

紀伊民報電子版



@agara_kiiminpo



紀伊民報
YouTubeチャンネル



紀南情報サイト

KiiLife

フリーペーパー

Kii LIFE+



田辺高校野球部(2023年12月撮影)

■愛される野球部に

田辺高校は紀南の進学校で、野球部員も文武両道に励んでいる。放課後の限られた練習時間の中で、グループに分かれて各自が必要なメニューを効率的に取り組み、学習塾に通う部員や、遠征先に勉強道具を持ち込む部員も少なくない。

チームのモットーは「愛される野球部になろう」。冬季は田辺市稲成町の高山寺で階段を駆け上がるトレーニングを続けている。練習後は境内の掃除やごみ拾いを行っている。8年ほど前からは、地域の野球人口の減少に歯止めをかけようと地元の小学生と野球の交流会を開いている。

■甲子園で勝ちたい

山本結翔主将の話 21世紀枠で選ばれて光栄。自分たちの目標は甲子園で勝つこと。出場したからには勝ち上がり、できれば近畿大会で敗れた京都国際など強豪校を倒したい。

【監督】	田中 格		
【部長】	嶋田 大輔		
【コーチ】	川邊 悠月		
【選手】			
投手	寺西 邦右 (稲原) ②		
	柴田 奏心 (高雄) ②		
	垣本 柊哉 (明洋) ①		
捕手	松本 結雅 (上富田) ②		
	前田 海翔 (上富田) ①		
内野手	◎山本 結翔 (上富田) ②		
	岡本 和樹 (東陽) ②		
	山本 陣世 (上富田) ②		
	尾崎 大晟 (高雄) ①		
	井谷 歩夢 (富田) ①		
	泉 仁乃 (高雄) ①		
外野手	小川 飛翔 (新庄) ②		
	山根 勇人 (上富田) ②		
	家高 良宜 (上秋津) ②		
	柳田 尚生 (東陽) ①		
	太田 爽心 (高雄) ①		
	鳥山 凌佑 (東陽) ①		
マネジャー	小川 輝流斗 (東陽) ①		
	吉田 奈穂 (上富田) ②		
	中谷 愛美 (上芳養) ②		
	野田 愛莉 (東陽) ②		
	中家 朱梨 (印南) ①		



練習に励む選手たち(田辺市学園の田辺高校グラウンドで)

※◎は主将。かっこ内は出身中学校。丸数字は学年

【秋季近畿県予選】

1回戦

田 辺 4-1 和歌山北

2回戦

田 辺 3-0 那 賀

3回戦

田 辺 5-2 高 野 山

準々決勝(8回コールド)

田 辺 9-2 市和歌山

準決勝

田 辺 5-2 智弁和歌山

決勝

田 辺 3-5 耐 久

【秋季近畿大会】

1回戦

田 辺 2-3 京都国際

(延長10回タイブレーク)

現チームの
公式戦成績